

## ■ちーびし

### ○執筆者紹介

- ①生年・出身地、②所属、③専門領域、④研究業績、  
⑤奄美と関係した活動  
の順番で掲載しております。

#### ■菅沼 俊彦（すがぬま としひこ）

- ①1947年・京都府  
②農学部生物資源化学科生命機能化学講座教授  
③応用糖質化学  
④機械的傷害によるサツマイモの内生-フラノテル  
ペン誘導因子の検索ー：農芸化学会誌, 71, 1265-  
1272 (1997)  
Monosaccharide composition of sweetpotato fiber  
and cell wall polysaccharides from sweetpotato,  
cassava and potato analyzed by HPAEC-PAD  
method. Journal of Agricultural Food Chemistry,  
48, 3448-3454 (2000)  
Degradation of cell wall materials from sweetpotato,  
cassava, and potato by a bacterial protopectinase  
and terminal sugar analysis of the resulting  
solubilized products. J. Biosci. Bioeng. 93, 64-72  
(2002)

#### ■高津 孝（たかつ たかし）

- ①1958年・大阪府  
②鹿児島大学法文学部人文学科日本・アジア総合文化  
講座教授  
③中国文学、中国書誌学、中国文字学  
④共編『知のプロフィール テキストによる人文科学  
入門』（松柏社、2003年）  
翻訳『中国の書物と印刷』（日本エディタースクー

ル出版部、1999年）

共著『琉球列島宗教関係資料漢籍調査目録』（榕樹社、  
1994年）

- ⑤平成15年度鹿児島大学大学院人文社会科学研究所  
公開講座（名瀬市）講師

#### ■西 啓一郎（にし けいいちろう）

- ①1957年・鹿児島県  
②鹿児島大学法文学部法政策学科・政策科学講座助教  
授  
③自治体政策論  
④『住民自治と小さな自治システム』鹿児島大学法  
学論集第38巻  
『島嶼部の基礎自治体内における自治システムに  
ついて』平成15年度地域貢献特別支援事業報告書

## ○奄美ニューズレター執筆要領

奄美ニューズレターの執筆者は、以下の要領を遵守してください。

## 1. 原稿の分量

- (ア)調査研究レビュー 6 ページ
  - (イ)しまゆむた 2 ページまたは 4 ページ
  - (ウ)島嶼スケッチ 2 ページまたは 4 ページ
  - (エ)鹿大資料紹介 2 ページまたは 4 ページ
- ・ 1 ページは、20文字×40行× 2 段=1600字となっております。

## 2. 原稿の書式

- (ア)基本的には、サンプルをもとにしてWordで執筆願います。
- (イ)写真・表なども、Wordにくみこまれるようにお願いします。
- (ウ)タイトルは、1 段組で 3 行程度におさまるようにしてください。
- (エ)タイトルおよび氏名については英文のものを原稿の最後につけておいてください。裏表紙に記載されます。

## 3. 執筆者プロフィールについて

(ア)執筆者は、プロフィールを巻末に載せますので、以下の項目について編集責任者萩野へメールにて送付願います。hg@leh.kagoshima-u.ac.jp

- ① 氏名 (よみ)
- ② 生年・出身
- ③ 現職
- ④ 専門領域
- ⑤ 主な業績 3 本まで
- ⑥ その他 (島嶼研究に関わることなら)

(イ)例)

- ① 萩野 誠 (はぎの まこと)
- ② 1959年・福岡県
- ③ 鹿児島大学法文学部経済情報学科経営情報講座教授
- ④ 経営情報論, ベンチャー企業論
- ⑤ 『情報技術と差別化経済』 九大出版会, 2003年  
『鹿児島の経営者にみる成功の方程式』 南日本出版, 2003年。  
「都市と農山漁村との交流圏の形成について」 Discussion Papers in Economics and Socioloty, No.301,2003年
- ⑥ 鹿児島大学人文社会科学部研究科名瀬市サテライト教室実施委員会委員長

4. 原稿の提出について

(ア)ニューズレターは、毎月20日発行となります。

(イ)原稿については、各月号の前月末までを提出期限としております。

・例えば、2月号に執筆の場合1月末までの執筆となります。

(ウ)校正は、1回だけとさせていただきます。校正の最終期限は15日となります。

5. その他

(ア)執筆者には、ご希望ならばニューズレターを10部送付いたします。

(イ)抜き刷りは、発行いたしません。

## ○編集後記

- 年度が変わり、鹿児島大学も国立大学法人となりました。しかし、奄美をはじめとする島嶼研究については、引き続き進めていくことには変わりはありません。これからもご支援よろしく申し上げます。

さて、今回の表紙写真は、本場奄美大島紬協同組合のホームページから拝借した新しい大島紬の画像です。「紬組合創立100周年記念秀作100柄展」から掲載させていただきました。新しい大島紬の微妙な柄を印刷で出すことは難しいですが、どうぞ組合のホームページをご覧ください。

(<http://www.oshimatsumugi.or.jp/>)

それから、編集責任者は、4月号をもって、萩野より采女博文（鹿児島大学法文学部）にバトンタッチさせていただきます。創刊号よりみなさまにご迷惑をおかけしましたが、新編集責任者は、頼もしい方ですので、よろしく申し上げます。

研究責任者 山田 誠  
奄美ニューズレター  
発行 鹿児島大学

編集責任者 萩野 誠  
AMAMI News Letter  
印刷 南日本共同印刷株式会社